

平成 19 年 8 月 10 日  
日本銀行盛岡事務所

## 岩 手 県 金 融 経 済 概 況

### 1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、設備投資が前年を下回っているが、公共投資が前年を上回っている。この間、個人消費と住宅投資は横這い圏内で推移している。

こうした中、生産は増加基調を維持しているが、雇用情勢は一進一退の動きとなっている。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は総じてみれば横這い圏内で推移している。

#### (大型小売店売上高)

百貨店の売上高をみると、中元商戦は地元産品を組み合わせたギフト商品を中心に順調に推移しているが、7 月入り後から主力の衣料品が落ち込んでいるため、全体では前年を下回る動きとなっている。スーパーの売上高についても、7 月以降衣料品の販売が前年を下回るなど、やや弱めの動きとなっている。

#### (家電量販店売上高)

家電販売は、パソコンが伸び悩んでいるが、薄型テレビやゲーム機、高性能の白物家電などが堅調に推移している。

#### (乗用車新車登録台数)

乗用車新車登録台数（軽自動車を含む）は、小型車を中心に前年を下回って推移している。

(2) 公共投資

公共工事請負金額は、大型工事の発注が続いており、前年を上回って推移している。

(3) 住宅投資

新設住宅着工戸数は、均してみれば前年並みで推移している。

(4) 設備投資

2007年度の設備投資計画(6月短観調査結果)をみると、製造業は、前年度をやや下回る計画となっており、非製造業は、情報通信の大型投資一巡から、前年度を大きく下回る計画となっている。

3. 生産動向

生産は、増加基調を続けている。

(電子部品類)

電子部品・デバイスでは、薄型テレビなどのデジタル家電や携帯電話向けを中心に高操業が続いている。

(輸送機械)

完成車、自動車部品とも、海外の好調な需要を背景に高水準の生産を続けている。

(一般機械)

自動車関連向け工作機械の生産が好調なほか、各種機械部品も幅広い分野から注文が入り高操業を続けている。

(その他)

情報通信機械では、携帯電話用基地局の投資一巡から、関連装置の生産が減少している。鉄鋼の線材は、自動車向けを中心にフル操業を続けている。窯業・土石は、民間向けが堅調なうえ、公共工事向けも足許上向いていることから、操業度を引き上げている。

#### 4. 雇用・所得の動向

雇用情勢をみると、6月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.76倍と前月比0.02ポイント低下し、新規求人倍率(同上)は、1.07倍と前月に比べ0.03ポイント低下した。

この間、雇用者所得は、一人当たり名目賃金が前年水準を下回って推移していることなどから、前年割れの状態が続いている。

#### 5. 企業倒産

7月の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数7件(前年同月比30%)、負債総額4,275百万円(同3.7倍)となった。

件数ベースでは落ち着いているが、負債額33億円の大型倒産があったことから、金額ベースでは昨年10月以来最大となった。

#### 6. 金融面の動向

預金動向をみると、公金預金が前年を大きく下回っているものの、個人預金が堅調に推移していることから、全体では前年を上回っている。

一方、貸出動向をみると、個人向けは住宅ローンを中心に堅調に推移しているが、法人向けが総じて低調なうえ、地公体向けも一部に借入返済の動きがみられ、全体では前年を下回って推移している。この間、貸出金利は、緩やかな上昇が続いている。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代) <a href="http://www3.boj.or.jp/morioka/">http://www3.boj.or.jp/morioka/</a>
--